

スーパーコンピューティングニュース表紙の改装について

編集委員会

今号から本誌の表紙を改装しました。

本誌は1999年の創刊から前身誌である「大型計算機センターニュース」の装丁を踏襲して、マーメイド紙ひまわり色の用紙を使用してきました。この用紙の色と、頁を捲（めく）る際の用紙の手触りになじんだ読者が多かろうと思われま

す。法人化を契機として学内外の広報誌デザインの多彩化・多様化が進んだこと、T2K オープンスパコン東大の導入にみるようにスーパーコンピューターを含めたコンピューターの発達・利用はますます加速していることなどを踏まえて、広報誌のデザインも旧態から新たな段階への転換が求められてきました。そこで、これまでのやや古風な「スーパーコンピューティングニュース」表紙のリニューアルについて検討を進めることにしました。

デザイナーには、数度にわたり多数の案を作ってください、そのたびに表紙デザインのコンセプト、見やすさなどを検討してまいりました。着手からほぼ1年間の検討を経て、今号から表紙を改装することとしました。

新しい表紙は、現代社会のネットワーク形成で必要不可欠なデジタルデータが流れている様、常に情報発信をしている様をイメージするとともに、これまでのひまわり色を一部に使用して継続性も維持しました。

表紙の改装とともに、掲載内容も一層利用者の皆様に役立つものとするべく注力してまいりますので、読者の皆様にはこの新しい表紙になじんでいただくとともに、今後とも本誌を応援くださいますようお願いいたします。